



清 風

令和4年5月31日
学校だより5月号
羽村市立羽村第二中学校
校長 清水 大史

「感動の修学旅行」と「真剣な職場体験」

校長 清水 大史

夏の訪れを感じる季節となりました。校庭にはサルビア、ベコニア、アゲラタム、マリーゴールドの花たちが元気に咲いています。これは、用務さんと職場体験の2年生と一緒に植えてくれたものです。本校の5月の様子として、生徒たちに送ったメッセージを紹介しします。生徒の皆さんは振り返りとして、保護者や地域の皆様は本校の雰囲気を感じていただけたら幸いです。

修学旅行のしおりより ～ 感動する修学旅行へ～ 生徒たちが考えたスローガン「学 楽 良 心」

いよいよ、修学旅行が近づいてきました。今までの準備、そして当日の運営に携わる実行委員の皆さん、本当にありがとうございます。まず、実行委員、班長、各係のリーダーの皆さんへ、三日間が充実し、感動する修学旅行になるために、何が必要なのかを考えて、自ら行動してくれると嬉しいです。任された責任を楽しみ、自主的な行動ができるよう期待しています。責任を果たすことで感じる充実感は、とても心地よいものです。

次に、3年生すべての皆さんへ、スローガン「学楽良心 京都 奈良」を実現するためには、リーダーはもとより全員の力が必要です。一人一人が自分に何ができるのかを考え、仲間を気遣う行動をとることが重要です。また、共同生活では、日常と違い不便や不自由さを感じることでしょう。しかし、これも大切な学習の一つです。一人一人が、羽村第二中学校の代表として自覚をもち、責任と思いやりのある行動がとれるよう、ベストを尽くすことを期待しています。

最後に、保護者の方をはじめ、修学旅行を支えてくださるすべての方々に、ぜひ感謝の気持ちを持ち、その気持ちを言葉でも伝えてほしいと思います。感謝の気持ちを胸に、奈良・京都の歴史に触れ、感性を磨いてきましょう。事前学習をしっかりと行い、実体験の中で五感（視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚）を働かせ、歴史に登場する人物などを想像するのも面白いのではないのでしょうか。それでは、(学)ぶことを(楽)しみ、学年全体が仲(良)く過ごし、(心)に残るような、感動する修学旅行にしましょう。

3年生の一生懸命取り組む態度、友人を思いやる心に感動しました。

職場体験の学習ノートより ～ 「働く」ことの意味について～

いよいよ職場体験が始まります。教室の外の「職場」という小さな社会で学ぶことは、意味のあることです。特に「働く」ということは、いずれ皆さんが担うであろう仕事を選択する際に、とても必要な経験となります。

「働く」という漢字は、「にんべん+うごく」と書きます。それは、実際に身体や心を使い、具体的にどう動くかが問われてくるということです。当然、そこには責任が生まれます。一つ一つの仕事は、事業所のお客様や利用者の方につながる大事な機会です。元気な声で「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などの挨拶をして、真剣な気持ちで働きましょう。「ちょっとくらい手を抜いてもいいや」なんという甘い考えは、絶対にしてはいけません。「働く」という本物の世界にお邪魔するのですから、覚悟を決めて働くことと本気で向き合うことが大切です。辛いこともあるでしょうが、それを乗り越え、働く楽しさを実感してほしいと思います。2年生の熱い挑戦に期待します。

2年生の真剣に仕事に向き合う姿は清々しく、頼もしさを感じました。

